

令和2年3月31日
水産庁

冷凍水産物需給情報

以下の表は、さけ・ます類、えび類、いか類、さば類、さんまについて、令和元年度第4回冷凍水産物需給情報検討会(令和2年2月21日)での協議を踏まえ、最近までの需給動向、今後の冷凍水産物の需給見通し(令和2年1月～3月の供給量、卸売価格)を取りまとめたものです(※1)。

	元年10月～12月の動向			2年1月～3月の需給見通し(※4)
	生産量 (水産庁調べ(※2))	輸入量 (貿易統計(※3))	卸売(東京)価格 (今四半期平均価格(冷凍に限る。))	
さけ・ます類	33,096t	49,610t	876円/kg	供給量(生産量+輸入量)
	前年比 50 % 平年比 50 % 前期比 96 %	前年比 86 % 平年比 103 % 前期比 189 %	前年比 79 % 平年比 93 % 前期比 94 %	前年比: やや増加 平年比: かなり増加 卸売(東京)価格 前年比: かなり弱含み 平年比: 弱含み 前期比: やや弱含み
えび類	(※5)	46,831t	1,432円/kg	供給量(輸入量)
		前年比 104 % 平年比 98 % 前期比 112 %	前年比 91 % 平年比 85 % 前期比 103 %	前年比: 横ばい 平年比: 横ばい 卸売(東京)価格 前年比: やや弱含み 平年比: 弱含み 前期比: やや弱含み
いか類	24,370t	35,769t	1,121円/kg	供給量(生産量+輸入量)
	前年比 88 % 平年比 42 % 前期比 67 %	前年比 147 % 平年比 140 % 前期比 134 %	前年比 119 % 平年比 125 % 前期比 102 %	前年比: やや増加 平年比: 減少 卸売(東京)価格 前年比: やや強含み 平年比: かなり強含み 前期比: 横ばい
さば類	139,120t	23,077t	539円/kg	供給量(生産量+輸入量) ※餌料用向けを含む供給量
	前年比 81 % 平年比 71 % 前期比 533 %	前年比 81 % 平年比 60 % 前期比 364 %	前年比 97 % 平年比 99 % 前期比 110 %	前年比: 減少 平年比: 減少 卸売(東京)価格 前年比: やや弱含み 平年比: 横ばい 前期比: 横ばい

	元年10月～12月の動向			2年1月～3月の 需給見通し(※4)
	生産量 (水産庁調べ(※2))	輸入量 (貿易統計(※3))	卸売(東京)価格 (今四半期平均価格(冷凍に限る。))	
さんま	40,666t	4,440t	871円/kg	供給量(生産量+輸入量)
	前年比 46 %	前年比 153 %	前年比 97 %	前年比: 横ばい
	平年比 44 %	平年比 148 %	平年比 159 %	平年比: やや減少
	前期比 838 %	前期比 314 %	前期比 115 %	
			卸売(東京)価格	
			前年比: かなり強含み	
			平年比: かなり強含み	
			前期比: 横ばい	

※1. 需給見通しの表のうち「前年比」とは平成31年1～3月と対比した傾向を表し、「平年比」とは平成27～31年の1～3月の5年平均と対比した傾向を表し、「前期比」とは令和元年10～12月と対比した傾向を表す。

※2. 「生産量」の欄の「水産庁調べ」とは、さけ・ます類については(一社)漁業情報サービスセンター(JAFIC)調べ(月別・主要漁港ベース)、その他の魚種については水産庁の「産地水産物流通調査」(月別・主要漁港ベース)の値を農林水産省の「漁業・養殖業生産統計」(年間・全国ベース)の値により補正した前年当該四半期の値に、JAFIC調べ及び「産地水産物流通調査」におけるそれぞれの今四半期の前年比を乗じて推定した値である。

※3. 「輸入量」の欄の「貿易統計」とは財務省関税局「貿易統計」である。

※4. 需給見通しの評価基準は以下のとおりである。

	供給量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	〃

※なお、「供給量」については、いずれの魚種も主な漁期に限られ、四半期毎に変動があることは自明であるため、「前期比」の見通しは省略している。

※5. えび類の生産量については、国内生産がわずかなため省略している。

問合せ先: 水産庁加工流通課企画調査班 佐藤、大和田 代表: 03-3502-8111 内線6617 ダイヤルイン: 03-3591-5612
--